

きょうのきょうどう

今日の協働

砂川市市長公室課協働推進係



～相和町内会の防災バッグ配備事業～

8月31日、相和町内会では、町内会活動として防災備蓄品の配備を行いました。翌日の9月1日が防災の日ということもあり、令和3年からこの事業を行っています。

この事業は新型コロナウイルス感染症が流行していた期間に始まった事業で、齊藤会長は「ここ数年はコロナでこれまでの活動を行うことができなかった。近年では毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生していることを受けて、町内会の防災対策として新たに防災備蓄品の配備事業を開始することとした。これまで令和3年に3戸、令和4年に9戸に配備しており、今年度は6戸に配備する。今後は全戸に配備するまで続けます。」と話しました。

防災備蓄品の内容は各家庭に合わせた防災バッグを配備し、さらに高齢者のために普段は椅子として使用でき、非常時にはそのまま背負って運べる「防災リュックになる玄関チェア」の配備も行っています。



今回配備された家庭の方は、「防災バッグは非常に軽く持ち運びやすい。中身について検討し自分なりの防災バッグにして配備しておきます。」と喜んで話していました。

今年の9月1日で関東大震災から100年となります。今年の防災の日に関東大震災のみならずご家庭でも防災について考えてみるのはいかがでしょうか。

